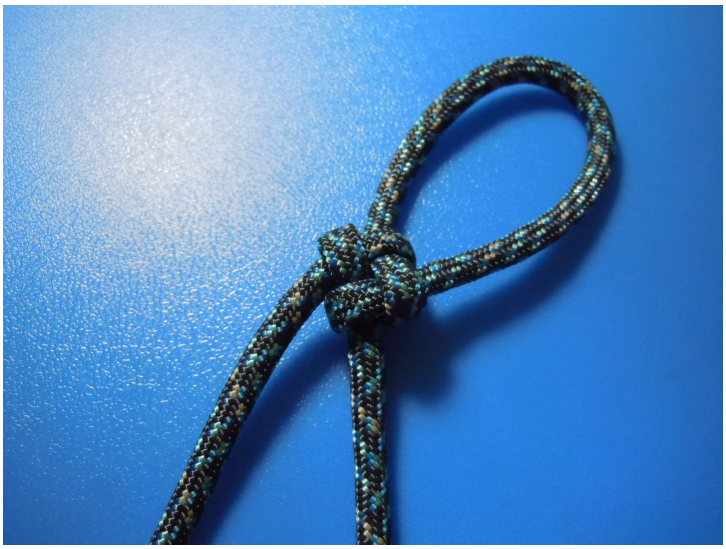
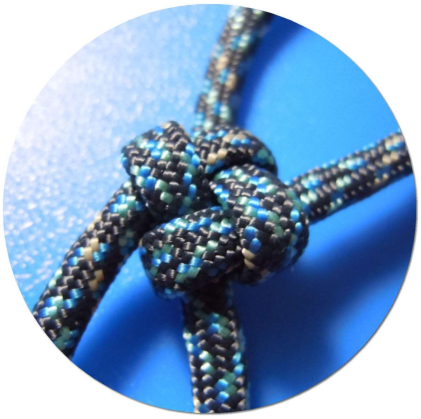
叶　結　び　（かのうむすび）

XRQTechLab　202005





「叶う」という漢字は「口」と「十」からできています。
願いが叶う、思いが叶うというおめでたい意味の漢字です。
この結び方は表から見ると「口」裏から見ると「十」のように見えることからこの呼び名が付いたようです。

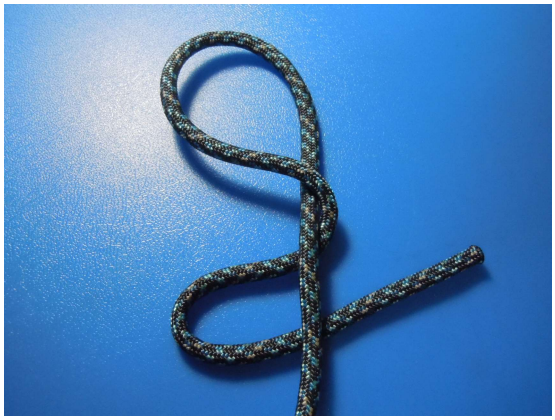
対称な形になっていることで、造形的にもきれいな結びです。
ストラップなどの飾りとしても利用できるのではないでしょうか。

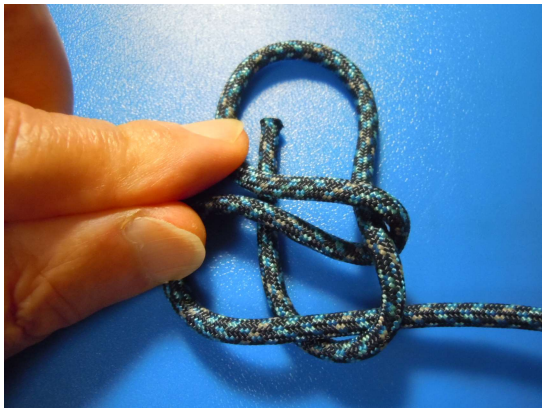
ここでは単独の結びを紹介しますが、この結びを繰り返すことで飾りをより大きくすることもできます。

４ｍｍφのパラシュートコードを使っていますが、どのようなコードでも差し支えありません。お気に入りのコードでお試しください。

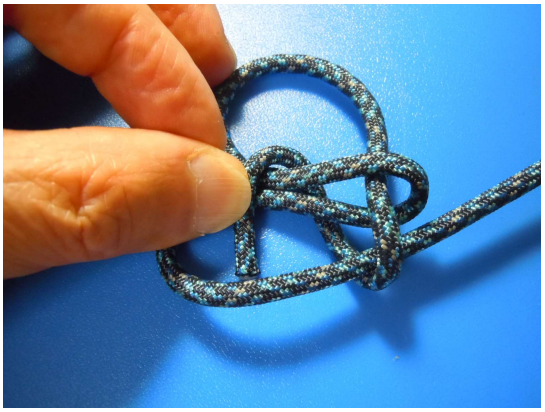
結び方

① コードの中ほどに輪を作り、上側になっている方のコードを折って、下側のコードの下に差し入れます。





② 縦になっているコードを折り返しの輪の下を通して上側の輪の中から表に引き出します。



③ そして、それを折り返しの輪の中に入れます。

④ これで井形の結びができていると思います。コードを調整して、形をと整えます。

表側は口の形になり、裏側は＋の形になっていると思います。両方を組み合わせると「叶」となるのでこの名前がついたようです。

しっかりとした輪ができる結び方で、これを組み合わせて網を編むこともできます。

結び方　その２

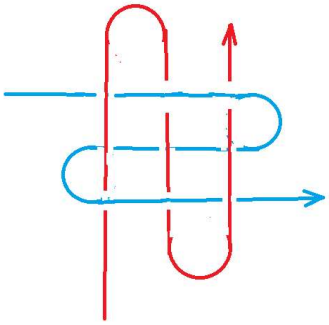
長いコードの端に輪を作る場合の結び方です。

①コードの端を左の写真のように配置します。

②コードの端で輪を作るように下側を通し、長いコードからの折り返しの上を通します。

③そのコードの端を折り返しの下を通して上に持って行き、最初に作った輪に下から通します。

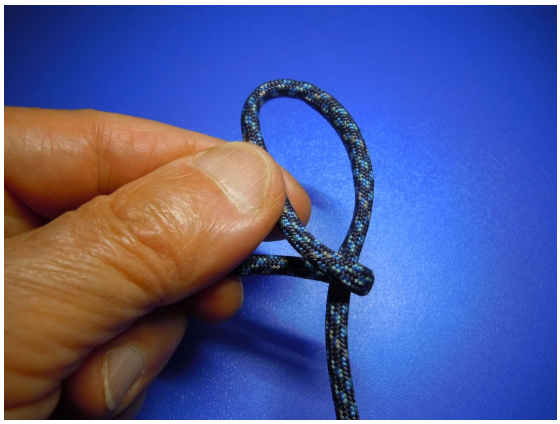
④そして、折り返しの中へ上から通します。
最初に作った輪の部分、写真では上の真ん中の輪が叶結びの輪になります。コードの端を摘んで、結びが解けないように注意しながら調整をして希望の大きさの輪になるようにしていきます。



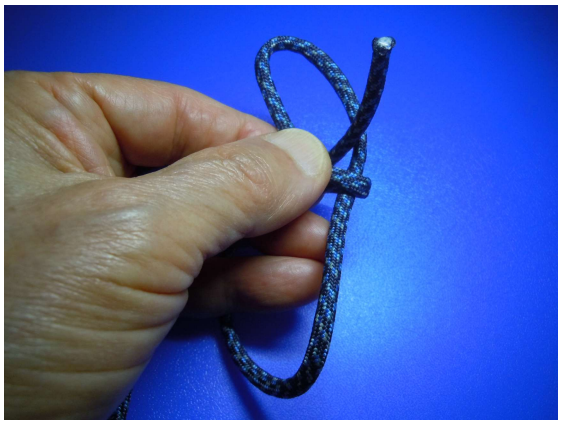
２本の紐を結ぶ場合の流れです。互いに相手を締めているのがわかります。

追記　2024.04.16　XRQTechLab

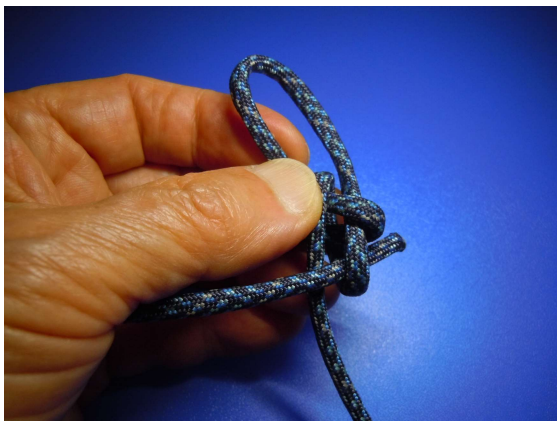
結び方　その３



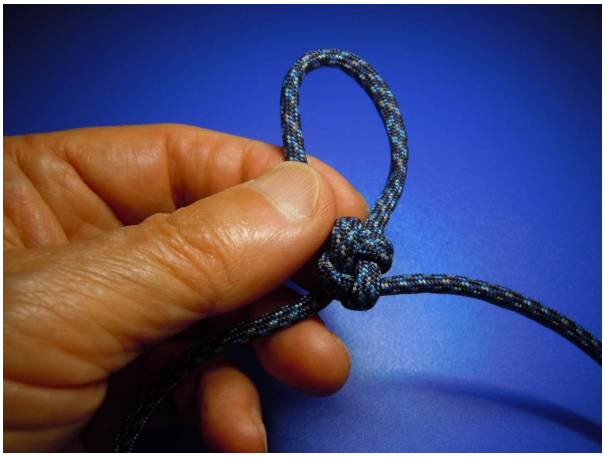
①　左上から折り返すように輪を作ります。



②　縦になっている端をその輪に下側から通し、重なっている２本のコードを巻きるけるように下に折り返します。



③　次に左に出ている端を、今折り返したコードの上を通して右の下にできている輪に通します。これでロの形が見えてきたと思います。



④それぞれの端を引き締めて形を調えれば完成です。

叶結びをいくつも連続させると綺麗な模様の編み方になります。キーフォルダーなどに如何でしょうか。

追記　2024.5.12

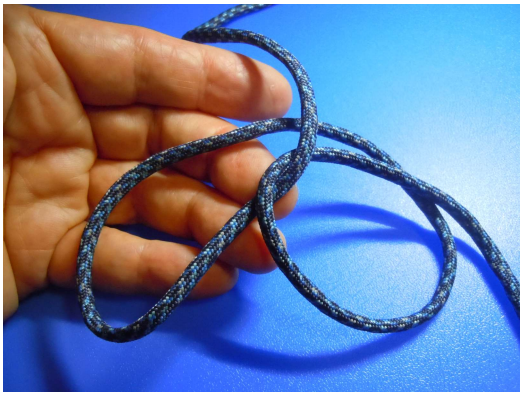
叶結びのバリエーション

2 つの輪をつけた飾り結びになります。

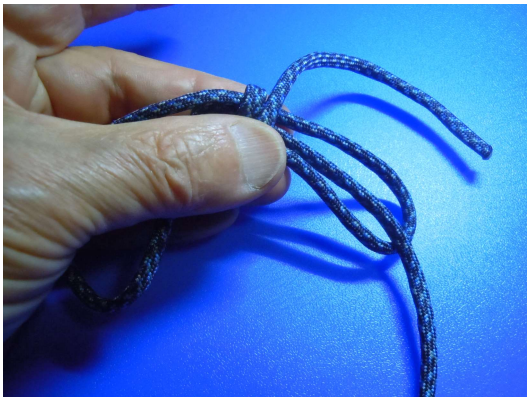
叶うに掛けておめでたい時に使えそうです。

2 本取りで色違いの紐などで結ぶと華やかな結びとなります。

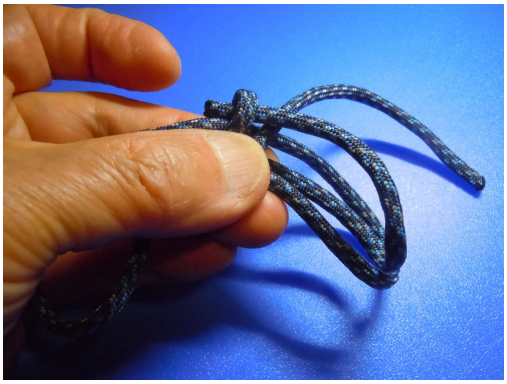
大きな環を作るようにして両端をクロスしハートを上下逆さままにしたような形を作ります。それを手に取って結んでいきます。



ハートの先端とクロスした部分を重ねて、指で挟みます。



左側からきている端を折り返し、
全体を巻くように下から上に巻き付けます。



指でつまんでいた部分にできた折り返しに、もう一方の端を通します

両方の端を引き締めていくと叶結びの形が見えてきます。

出来上がった時には左のように上下が逆さまになっています。

左右の輪の大きさが異なる場合には、結びの中で両方の輪は繋がっていますので、自由に左右の大きさを変えることができますので形を整えてください。

追記　2024.5.10